

経営比較分析表（令和3年度決算）

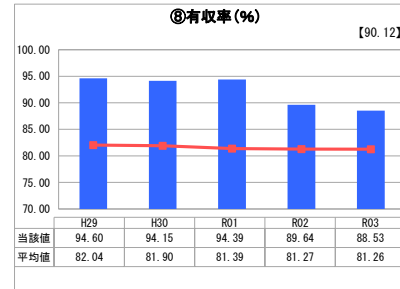
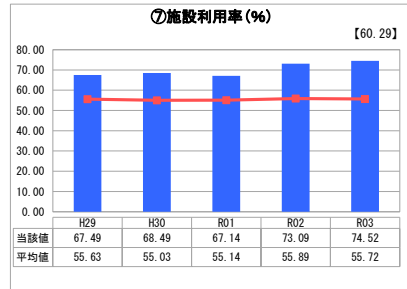
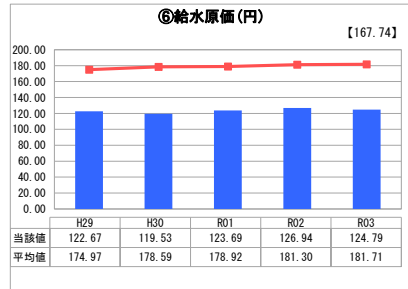
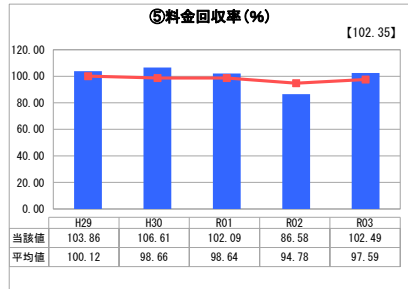
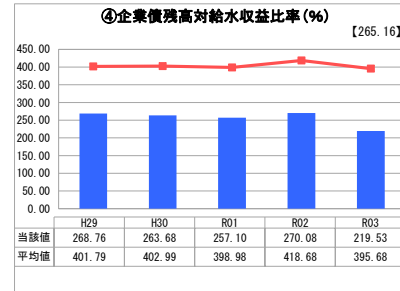
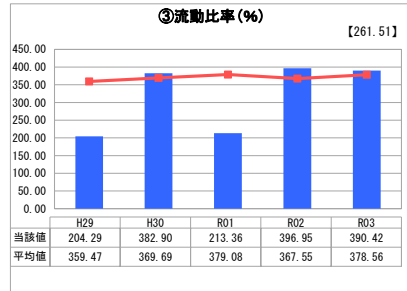
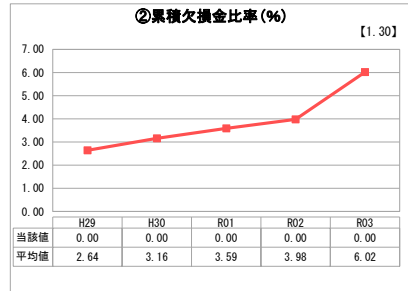
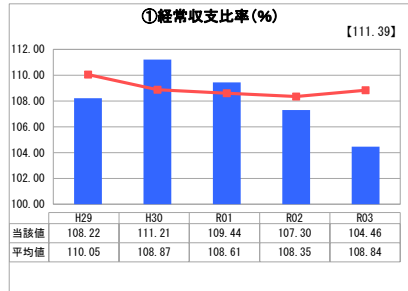
栃木県 野木町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A6 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり客単料金(円) | |
| - | 81.17 | 90.04 | 2,530 | |

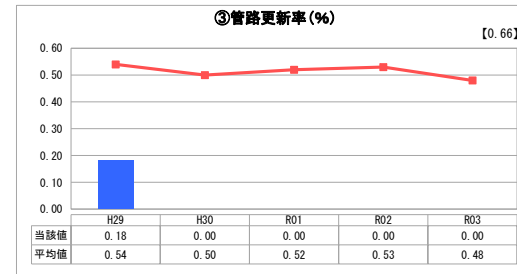
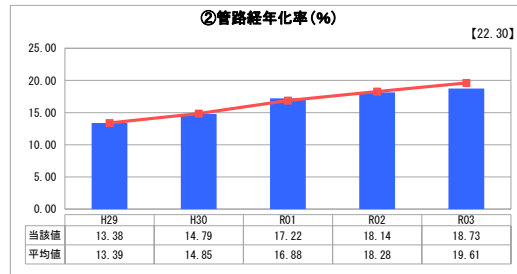
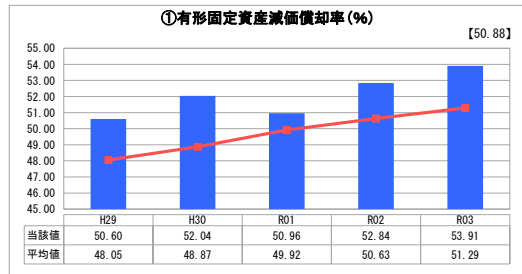
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 25,305 | 30.27 | 835.98 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 22,719 | 20.80 | 1,092.26 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値（当該値） |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和3年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
⇒現状は100%を超えているが、年々減少傾向にある。経費等の見直しを行い、今後も効率的な経営の必要がある。
- ②累積欠損金比率
⇒累積欠損金比率はなし。
- ③流動比率
⇒100%を上回っているが、後に管の更新を控えているため注視していく必要がある。
- ④企業債残高対給水収益比率
⇒令和2年度は料金の一部減免により増加したが、借入額の減少により年々減少している。
- ⑤料金回収率
⇒令和2年度は指標が100%を下回ったが、料金の一部減免の終了に伴い、類似団体と同水準へ戻った。
- ⑥給水原価
⇒類似団体・全国平均よりも安い水準を維持している。
- ⑦施設利用率
⇒年々微増している。有収率が下がっていることから、漏水の可能性が高い。そのため、有収率と併せて今後も推移を注視する必要がある。
- ⑧有収率
⇒類似団体との比較は高い水準は維持しているが、漏水の増加により下がってきている。早期による対応の実施や周知に努め、効率的な運営を行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
⇒類似団体・全国平均よりも高い数値であり、更新が追いついていない状況である。そのため、今後も引き続き更新の必要がある。
- ②管路経年化率
⇒類似団体とほぼ同じ状況であるが、年々比率が上がってきているため、上記の通り更新が必要になってきている。
- ③管路更新率
⇒管路の更新が実施できていないが、近々大規模な更新をしていく予定である。

全体総括

現状、給水原価は抑えられているが、少しずつ施設の老朽化が目立ち始めてきた。事業の安定した運営及びサービスの提供のために早急な対応が必要になってきている。